

「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト実践研究協働校事業

☆前期授業研究会Ⅰ（体育科）☆

6月14日（火）は、体育科の授業研究会が行われました。4月の教材研究会を受けて、再度単元構想や本時の授業について検討し、課題解決的な学習を進めることや、見方・考え方を明確にして学習過程の中で見方・考え方を働かせる児童の姿が向上していくことを目指すようにしました。本時の授業では、これまでのラリーゲームを続けていく学習から、攻防を展開していく学習に入り、意図的・効果的な攻撃とはどのようなものかチームの課題や強みをともに考え、探っていく学習を行いました。

単元名 「心をついに1・2・3！ソフトバレーボール」全9時間
6年1組 今津 好智 先生
本時の目標：チームの特徴に応じた課題を見出し、課題解決するための場を設定したり、選んだりすることができる。
本時における見方・考え方：チームの特徴を確認し、課題解決に向け思考・表現している。

慣れの運動（ボンバーゲーム、円陣ラリーなど）を行い、課題に応じた動きを高めます。

「3回目の返し方」、「役割の明確化」を視点に着目して、意図的・効果的な攻撃を探ることをめあてにしています。

チームの課題を確認し、課題に合わせた運動に取り組んだ後、試しのゲームを行います。

ゲーム後、どうであったのかグループで話し合い、兄弟班からもアドバイスをもらい再度ゲームを行いました。

意図的・効果的な攻撃とは何か、振り返りをして次時につなげました。

授業参観の視点(2点)に沿って、グループ協議を行い、全体共有をしました。(抜粋)

- ① ネット型ボールゲーム「ソフトバレーボール」の特性にふれる単元構成及び授業構成となっていたか。
- ② ネット型ボールゲーム「ソフトバレーボール」で育てたい資質・能力は適切であったか、また体育の見方・考え方を働かせた学習指導や学習活動となっていたか。

<研究協議より>

- 課題解決に向けた学習や技術だけではなく、スポーツを楽しむ視点のある単元構想、授業構成になっていてよかったのではないかと。
- 子ども達が課題解決に向けて主体的に対話を通して学習を進めていた。
- 慣れの運動（ボンバーゲーム）では、相手を見たり、ボールの落下点に入ったりなど、動きを高めることにつながっていた。
- ▼ ICT を活用し、自分やチームの動きを客観的に捉え、「みる」ことの質を上げていくことで、中学校の合理的な解決へつなげていくことができるのではないかと。
- ▼ サーブなしにするなど、ルールを工夫することで、意図的・効果的な攻撃へつながるのではないかと。
- ▼ 「効果的な攻撃」について、めあてにある「3回目の返し方」「役割の明確化」が、子ども達に意識されていたか。ゲームをすることに意識が強く、課題への意識が弱かった。
- ▼ 技術がついていないとゲームが難しく、人数を3人ではなく4人にするなど人数の工夫をしてもよかった。
- ▼ 運動量については、単元全体を通して考えていくとよいのではないかと。（中学校の先生より）

ボンバーゲームなどのソフトバレーボールにつながる動きを小学校の低学年から取り入れてほしい。



高知県教育委員会保健体育課 山岡 千一 氏より

- ・ 子ども達が分かる単元の流れ、子ども達が見つけたポイントやコツ、ルールなどが掲示されていた。子ども達とルールをつくる視点が大事である。
- ・ 「3回目の返し方」と「役割の明確化」について、チームの課題と練習をつなぐことを子ども達は意識できていたか考える必要があった。（つなぎ方、連携の仕方を一番考えるところ）
- ・ 「みる」視点として、よい動きについて ICT を活用して確認する、兄弟班を使って友だちのために言おうとする仕組みは効果的であった。
- ・ 発展的にゲームを行うときの働きかけとして、子ども達が気づいていないなら声掛けをする。今、何に困っているのか、うまくいかないことは何かを問う。
- ・ ネット型の特性（楽しさ）とは、ラリーが続くこと、連携して取りにくいボールを返す、アタックを打つなど、ボールやルールの工夫を入れることで楽しさにつなげたい。

今津先生による授業の17レクション

児童が主体的にゴールの姿を思い描き、単元構想にイメージを持たせることで課題解決型の学習とすることができました。運動との出会わせ方が非常に重要であると感じました。時間によって運動量が少なくなってしまうことがあったので、振り返りの仕方については今後も考えていかなければならないと思いました。

チームの課題に向けて、どのように解決したらよいのか子ども達で考え、試しながら改善していく姿、ソフトバレーボールを楽しむ姿が見られる授業でした。今津先生の一つ一つポイントを押さえた問いかけ、学習の仕組み方などたくさん学ぶことができました。系統性を踏まえた動きを高める慣れの運動もしっかり行っていきたいですね！